

## 2020年 5月 浜松聖書集会のご案内

(時間: 午前10~12時)

- 4月 26日(日) 集会と 5月 3日(日) の集会は 休みといたします。
- 5月 10日(日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会: 水戸 潔 感話: 榎本 潤  
聖書講話: 出エジプト記 20章2~4節  
「旧約聖書にみる偶像礼拝に想う」 溝口 春江
- 5月 24日(日) 集会 (アクト研修交流センター37セミナー室)  
司会: 大屋 智代 感話: 相原 夏江  
聖書講話: マルコによる福音書 3章20~35節  
「人々の無理解とイエスのたとえ」 水戸 潔
- 5月 31日(日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会: 永井 徹 感話: 大手 美千代  
聖書講話: イザヤ書 36~39章  
「万軍の主の熱心が成し遂げる」 武井 陽一

.....通 信.....

- 新型コロナウイルス感染の状況から判断して、4月29日と5月3日の集会は休みといたします。予定していた、4月26日の内坂晃さん、5月10日の矢田部千佳子さん、5月24日の富井直子さんの聖書講話は中止して、上記のように変更しました。3人それぞれの方に、「みぎわ60号」に投稿して証して頂くように、依頼いたしました。
- 予定していた、7月24日(金)~25日(土)の夏期講習会も、今年は中止とします。かわりに、7月26日(日)に、浜松聖書集会を開きます。
- 「みぎわ60号」原稿投稿の案内は、5月初めにお送りします。今年も、まさに紙上のエクレスシアの場として、「みぎわ」が用いられますようにと願っています。
- 浜松聖書集がこれまで1回1回、開けた幸いに心より感謝しています。参加がゆるされないお一人おひとりのお祈りにも支えられました。これからも祈り合い、助け合いながら歩んで参りましょう。

### イエスの降誕と終末

溝口 正

わたしたちは、ヨハネ黙示録で終末の恐るべきラストシーンを学ぶことができる。しかし、終末の本当の意味は、イエスの降誕によって救いの時代に入ったことを告げるところにある。この世の終末は、すでにイエスの降誕によって始まっている。それ故、現在は終末のただ中である。人類は終末に入って、すでに二千年を経過したことになる。

やがて時が来て、新天新地の創造と神の国の到来によって終末を終わらせたもうのは、救い主イエス・キリストである。救い主は、終末を始め、また、終わらせたもうお方である。主の御手の中に終末は完全に握られている。それ故、わたしたちは、終わりの日の審判を予感しても、恐れたり、悲しんだりする必要はない。

見よ、今は恵みの時、見よ、今は救いの日である。(コリント第2 6の2)

これが終末の本質である。まことに、イエス・キリスト降誕によって、救いの喜びがこの世に訪れていることを感謝し讃美することこそが、終末の本質でなければならない。誤解して希望を失ってはならない。

終末の主イエス・キリストは、わたしたちの心の扉をたたいて「今は救いの日であるから、救いにあずかりなさい。今は恵みの時であるから、恵みを受け取りなさい」と、夜となく昼となく招いておられる。

終末を生きるわたしたちの緊急課題は、今ただちに悔改めて主の招きに応じることである。

(1994年12月 「復活」第339号)